

令和5年度 こども若者★いけんぷらす
「女子の理系進学」
アンケート調査結果（いけんのまとめ）

○調査概要

（1）調査テーマ

- 女子の理系進学

（2）調査対象

- 「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、令和5年4月の時点で中学生以上の女性の方

（3）回収状況

- 有効回答数：37件

（4）調査方法

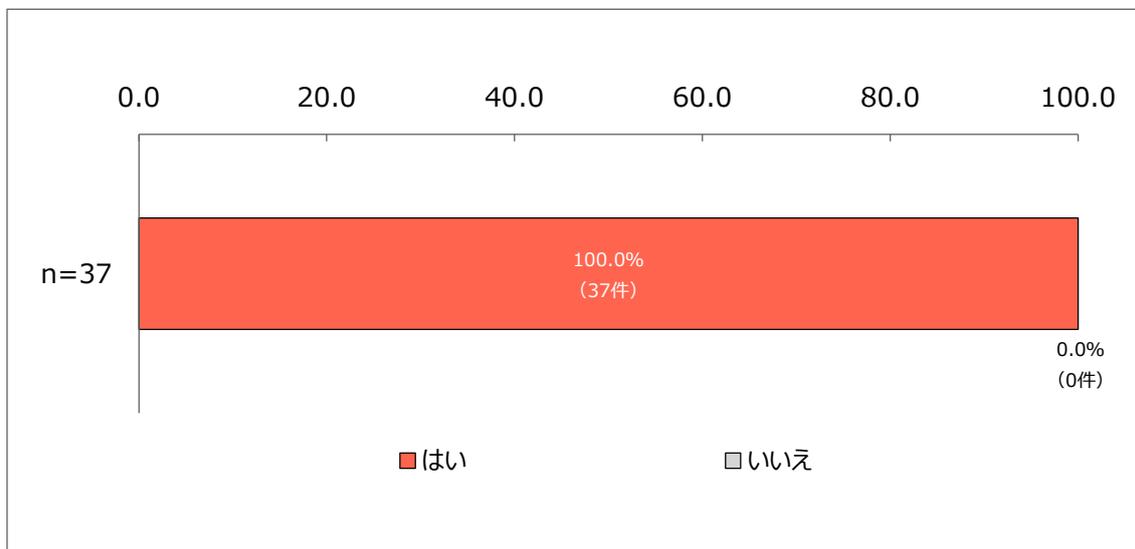
- Google フォームを用いたWEB アンケート調査

（5）調査期間

- 令和6年1月22日（月）～2月9日（金）

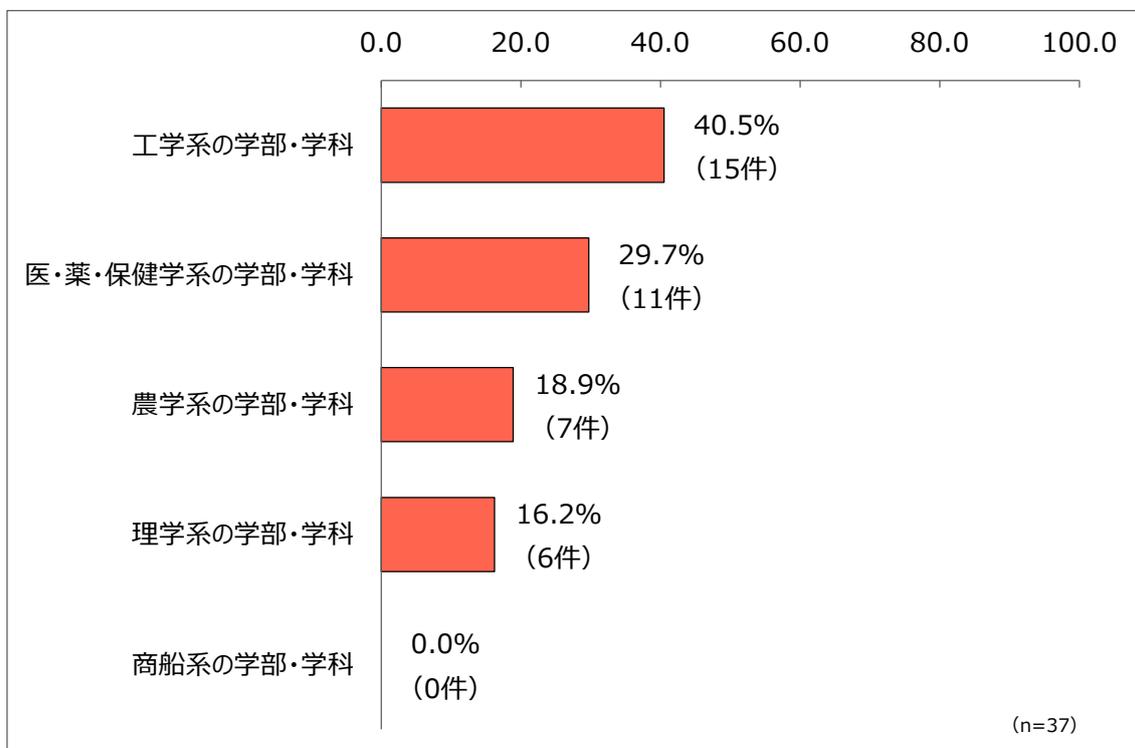
○調査結果

Q1. あなたは、理系の学部・学科に進学した女子大学生・女子高専生、または、理系の学部・学科を卒業した女性ですか。(単数回答)



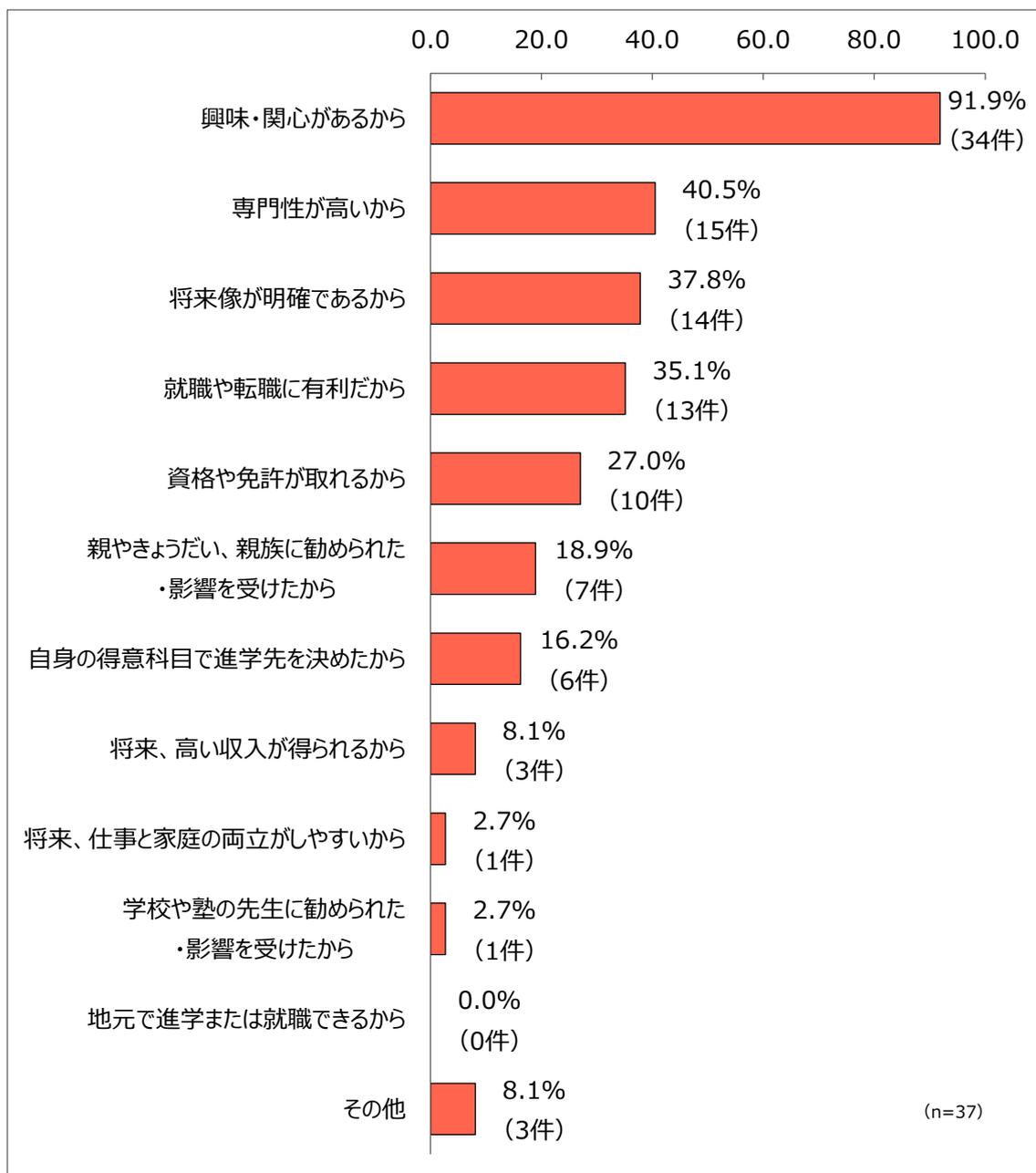
Q2. あなたが進学・卒業した学部・学科を教えてください。(複数回答)

(Q1で理系の学部・学科に進学した女子大学生・女子高専生、または、理系の学部・学科を卒業した女性であるに「はい」を選んだ人のみ回答)



Q3. 理系の学部・学科に進学しようと思った動機は何ですか？（複数回答）

（Q1で理系の学部・学科に進学した女子大学生・女子高専生、または、理系の学部・学科を卒業した女性であるに「はい」を選んだ人のみ回答）



Q3. 「その他」の内容

- 元々農業高校にいたため
- 高校が理数科だったから
- 親の意向

Q4. (前の質問で選択した)「理系の学部・学科に進学しようと思った動機」を持つようになったきっかけは何ですか。可能な限り、きっかけとなった出来事や体験などの具体的な内容を教えてください。
(自由記述)

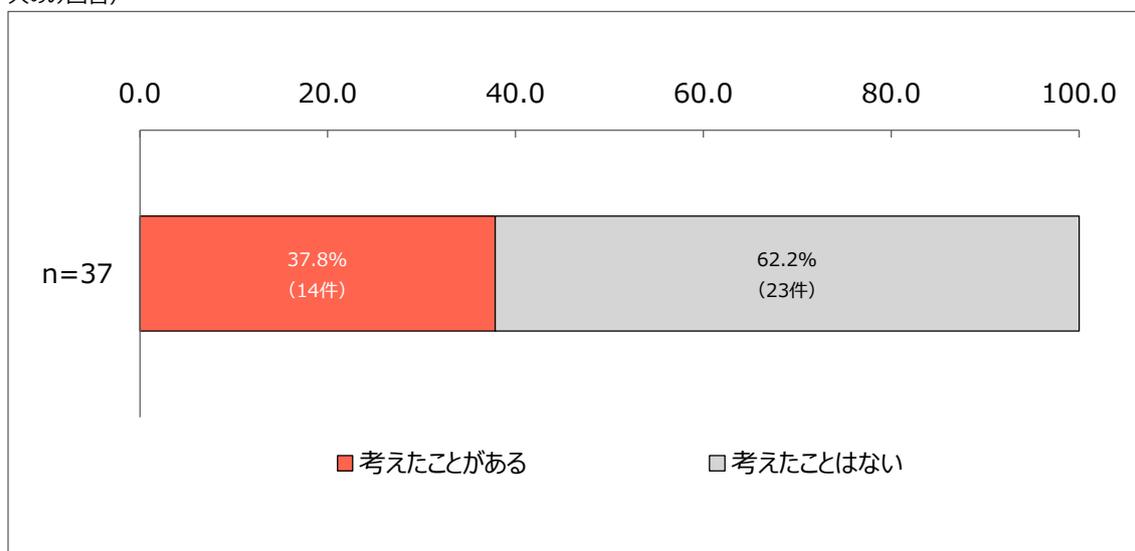
(Q1で理系の学部・学科に進学した女子大学生・女子高専生、または、理系の学部・学科を卒業した女性であるに「はい」を選んだ人のみ回答)

- 手に職をつけられそうと思ったから。
- 高校の先生に、研究職は毎年必ず採用があるといわれたので
- 看護師の資格があれば、自分くらいの程度の能力でも雇ってもらえると思ったから。
- 資格があると結婚や育児で退職や休職しても、働きたくなかった時に正社員で復帰できるから。
- 氷河期時代やリーマンショックなど景気に左右されない資格があれば職に困らない、という風潮があったため
- 進路選択時に社会にある様々な職業についての理解度が低かったために、手に職をつけるには研究・技術職しかない、研究・技術職なら理工学部しかないと思い込んでいたから
- 仕事にするならと思う程度に好きだったこと。
- 稼ぎたかったから。
- 数学と理科が好きで得意科目であり、国語と社会が嫌いで苦手科目だったから。
- 数学と理科が得意で、もともとは医師や薬剤師を目指していたため。
- 中学生のとき、理科が得意だったこと。また、人体や製薬に興味を持っていたこと。
- 数学・理科(科学/生物)の授業が好きだった事から。色や物質など抽象的なものにも科学的に掘り下げると原理原則の元に再現される事や、根本的なルールを理解すればそれを応用して沢山の問題を解決する事が出来る事が面白かったから。
- もともと理系科目(算数、数学、理科)が得意かつ好きでした。女性であることから、出産子育てで将来的に働けなくなるまたは働きづらくなるリスクはゼロではなかったし、将来の夫に大きな期待をし過ぎるのもリスクが高かったので、より就職に強そうで万が一ひとりでも生きていける様なビジョンを描きやすい進路にしました。
- 化粧品に興味があったため
- 持病の治療の経験から医療に興味を持ち、高校で物理が面白いと感じたため、医療機器関係の学科に進んだ
- 幼少期からものづくりが好きで、それを肯定してもらえる環境にいたため。
- (医・薬・保健学系)生物学系に興味関心があり、人の役に立ち、人を救える職業につきたいと思ったから。
- 宇宙が好きでそれを学べるのが理学系しかなかったため
- 小さい頃から水族館や動物園が大好きで、生き物に興味があったから
- 幼稚園生・小学生の頃科学館によく行っていたこと
- 高校の技術の授業が楽しかったから
- 高校で化学に触れた時に、机上だけでなく実際に合成も本格的に行いたいと感じたから

- 自然豊かな場所で育ったこと、博物館や動物園が近くにありよく行っていたため生物系の分野について興味があった。自分が興味を持った分野が偶然理系だったため理系を目指した意識はない。
- 小学校の時に高専で取り組んだジュニアドクターがとても楽しく、もっとこのような環境で勉強をしたいと思ったから。
- 4歳で初めてパソコンに触れたときに思わず魔法だと思ったから
- 親にパソコンでの文字打ちを教えてもらった
- 祖父が趣味で機械を作ったり大叔父が変わった石を採掘したりしていてなんとなく理工学に興味があった
- 家族に医療従事者が多かったから。
- 青年海外協力隊に憧れた
- 理学部に進学し、この世の理を探求することにロマンを感じたから。
- 東日本大地震をきっかけに防災に興味を持ち、災害に強い街づくりに携わりたいと思うようになったことがきっかけです。
- 中学生のときに新聞記事で素粒子の閉じ込めに関するニュースを知り、素粒子について研究したいと思うようになりました
- 私は特殊なケースだと思うのですが、自分自身は文系に進学したいと強く思っておりましたが、父親の強い意向で理系に進学せざるを得なかったです。また、在学していた女子校の八割が理系進学をしていたことも少し影響しています。専攻は獣医系で、受験に使用したのは化学と生物でしたが、生物には少し興味があったことも幸いです。ただ、医学部志望ではない理系進学者で生物選択をすると、必然的に進学の実選択肢がなくなってくるのが志望学部（偏差値が一番高い）を決める動機に直接繋がったと思います。

Q5. 最終的に理系の学部・学科への進学を決めるまでに、理系の学部・学科への進学をやめようと考えたことはありましたか。(単数回答)

(Q1で理系の学部・学科に進学した女子大学生・女子高専生、または、理系の学部・学科を卒業した女性であるに「はい」を選んだ人のみ回答)



Q6. 理系の学部・学科への進学をやめようと考えたのは、どのような要因によるものでしたか。(自由記述)

(Q5で最終的に理系の学部・学科への進学を決めるまでに、理系の学部・学科への進学をやめようと考えたことがあるを選んだ人のみ回答)

- 理系科目が苦手だったから
- 数学が苦手だったから
- 数学と物理がとても苦手だったため
- 理数系科目があまりにもできず文系科目がよくできたため
- 女性が極端に少なかったり、文系に比べて勉学が大変そうというイメージ
経済的に余裕がないのでアルバイトと両立できるかという不安があった
- 親に笑われたため
- 化粧品分野の研究が本当に自分のやりたいことなのかわからなくなったから
- 学力不足により、自宅から通学可能な国公立大学に進学出来る見込みがなかったから。
- 大学で工学部に進学したが、当初は親や祖父母から反対された。また、男の子ばかりなので、高校時代周りの女子からよく思われなかった。
- 自分自身が文系に進学したかったこと
- 学費が高額となる。カリキュラム上、留学などが難しい。
- 中学入試の時に特別入試というものを国際学科に行きたいと思って受けました。なので、入学後の変更は不可で、国際学科は文系の部類だったので授業は文系の授業を受けるしかなく、理系の大学に行きたければ独学で理系の範囲を勉強するしかありませんでした。

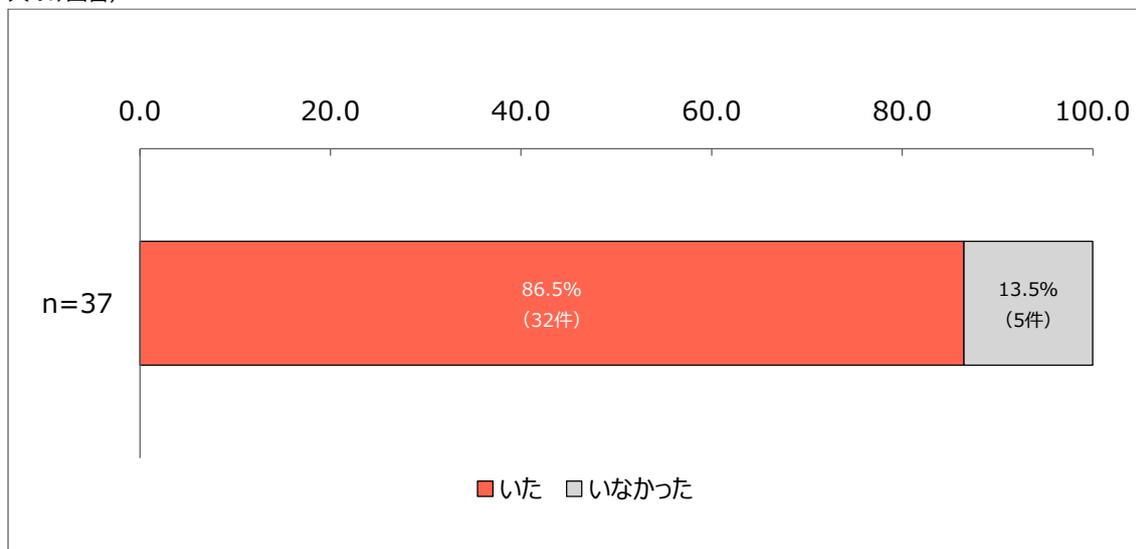
Q7. 理系の学部・学科への進学をやめようと考えた要因をどのように乗り越えましたか。(自由記述)

(Q5で最終的に理系の学部・学科への進学を決めるまでに、「理系の学部・学科への進学をやめよう」と考えたことがある」を選んだ人のみ回答)

- 勉強。
- 日本の大学に理系として入るのではなく、海外の大学に入学して理系を専攻しています
- 物理の二次試験がない大学を選びました。
- 志望学部を変更した
- ランクの低い大学に落としました
- 反対を押し切って、受験し、進学した。(反省はしている)
- 両親に振り回される形でなんやかんや情報処理の大学へ進学しました
- 乗り越えるというより、父親(出資者)の意向や、学校の理系選択以外を認めないような空気が強かったことがあったので、このまま頑張っていこうかな、とぼんやり切り替えていった感じです。
- とにかくまずはやってみようと思いましたが、結局教授のセクハラ・パワハラを容認する環境に嫌気がさし、文系の学部へ転学部をした
- 自分の場合、学費に関しては親からの援助があった。留学等はできなかったのも悔いはある。
- 大学生に経済的な話を聞き、アルバイトもなんとかできそうだったから
- 受験には不利だが最終的に生物系を学ぶにあたり障害になる問題では無かったから

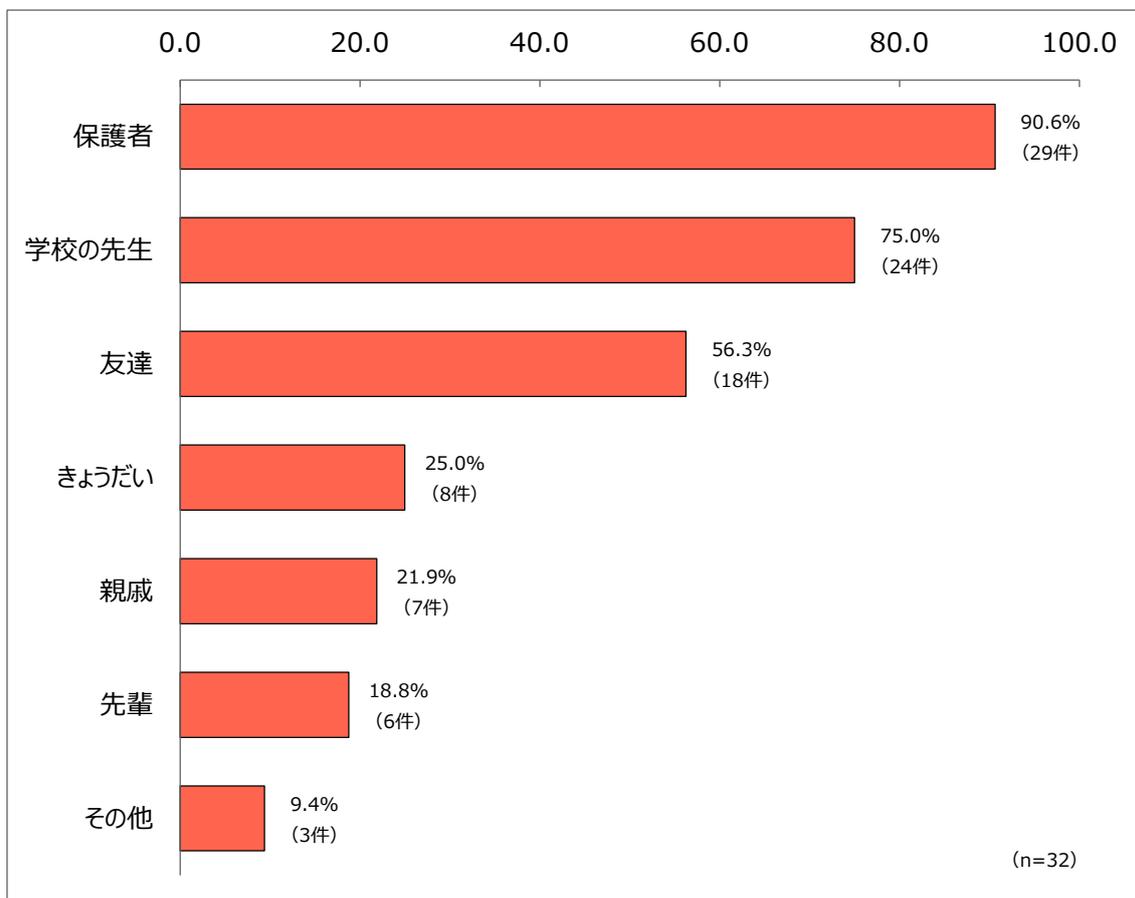
Q8. 理系の学部・学科への進学を応援してくれた方はいましたか。(単数回答)

(Q1で理系の学部・学科に進学した女子大学生・女子高専生、または、理系の学部・学科を卒業した女性であるに「はい」を選んだ人のみ回答)



Q9. 理系の学部・学科への進学を応援してくれた方はどなたですか。(複数回答)

(Q8で理系の学部・学科への進学を応援してくれた方が「いた」を選んだ人のみ回答)



Q9. 「その他」の内容

- 塾の先生 (2人)
- 塾の先生方

Q10. (前の質問で選択した) 理系の学部・学科への進学を応援してくれた方は、どのような理由から応援してくれていましたか。(自由記述)

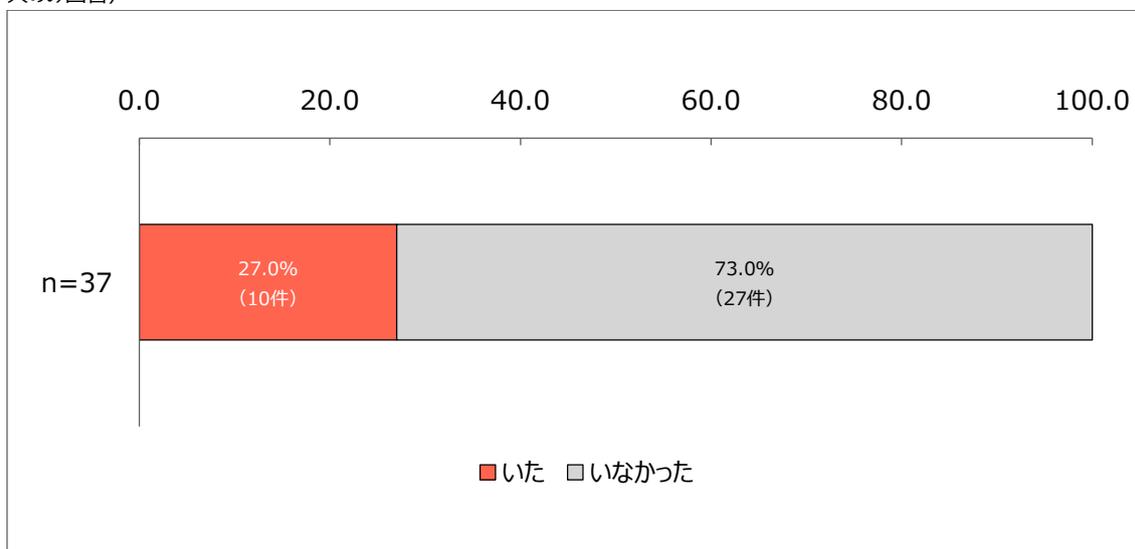
(Q8で理系の学部・学科への進学を応援してくれた方が「いた」を選んだ人のみ回答)

- 私が志望していたから
- 私のしたいことを尊重してくれる家庭だったため
- 本人がやりたいことだからと。
- 個人の望んだ進路だから
- やりたいことをしたらいい
- 私が自分で決めたから。
- 自分の進みたい道を応援してくれた

- 自分のやりたいことをやるべきだという理由から。
- 自分で決めた進路ならそれに向かって頑張るのが良いという理由
- やりたい事をやれと、気持ちを尊重してくれた。
- 理系だからという理由ではなく、私が決めた進路だから応援してくれたのだと思います。そのため、文系でも同様に応援してくれたと思います。
- 理系分野に興味があり、進学するための学力があったことも理由のひとつですが、1 番の理由は本人(私)の希望だったためです。
- 似合っているという理由もあれば、頑張っている姿を応援したいという思いもあった。
- 頑張って勉強に取り組んでいたため。
- 私が高専に向いていると思われていたから。また、数学と理科が得意だったから
- 自分の得意科目が理系だったから。また、親族が全員理系だったから。
- 理系科目が好きなことを知っていたので
- 私は理系科目が得意で、自分で選択したことだから。
- 将来性
- 将来性があり、稼ぐことが出来るから。私が望んでいることだから。
- 私の学力から判断して高望みではないこと また親の、女子である私を理系に進学させたい理由は将来の安定性にあったのですが、たしかにそれには一理あるということで、応援してしてくれたように思います
- 志望先と自分の学力があっていたから。
- それなりの進学校だったので、そもそも「女 = 文系」という概念がなかった。女の子の友達もみんな理系だし、理系クラスの中でも女子はマイノリティではなく、男女半々。文系だろうが理系だろうが、自分の好きな分野でそれなりに学力が必要な大学を目指して成績を出していれば応援してもらえる。
- 前提として理系だから応援してくれたのではない。学びたい分野があり、大学に進学したいという希望を言い、そこに至る様々な過程で応援・支援してくれた。どのような理由というほど特殊なものではなくスポーツ大会出場を目指す子どもを応援する、コンクール受賞を望む子どもを支援する、就職する子どもを支えることと同じ。
- かついいねとっていました
- わからない

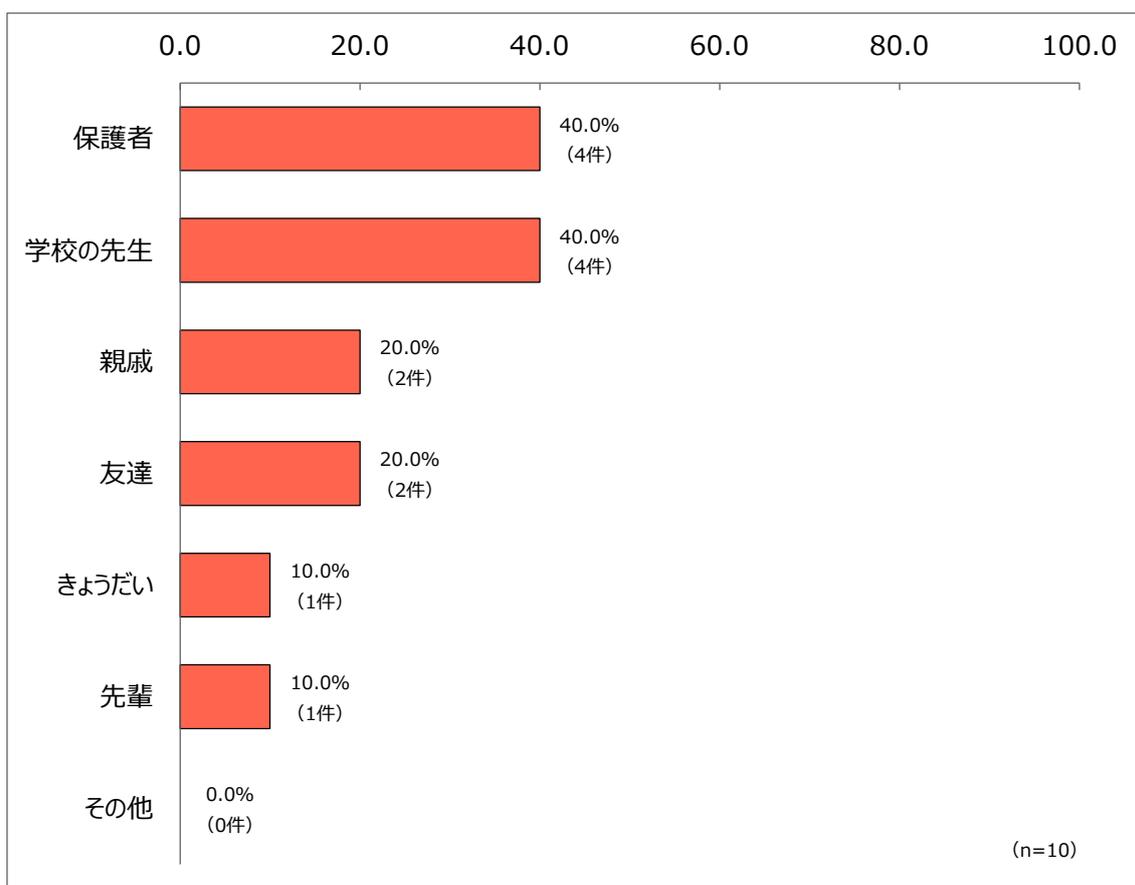
Q11. 理系の学部・学科への進学を反対した方はいましたか。(単数回答)

(Q1で理系の学部・学科に進学した女子大学生・女子高専生、または、理系の学部・学科を卒業した女性であるに「はい」を選んだ人のみ回答)



Q12. 理系の学部・学科への進学を反対した方はどなたですか。(複数回答)

(Q11で理系の学部・学科への進学を反対した方が「いた」を選んだ人のみ回答)



Q13. (前の質問で選択した) 理系の学部・学科への進学を反対した方は、どのような理由から反対していましたか。(自由記述)

(Q11 で理系の学部・学科への進学を反対した方が「いた」を選んだ人のみ回答)

- 大変そう
- 高専は赤点が高いし、行ってもつらくなるだけだから
- 文系科目がよくできていたため
- 成績が明らかに文系で、文系の方がよりレベルの高い大学に行けると判断されたため。
- 女性が少ない、危険(実験や、将来の工場勤務など)、嫁の貰い手がなくなるなど。
- 女が理系はよくない? などと意味不明な理由
- 先述の通りですが、行き過ぎたオタク趣味と思ったのかも知れません
- 当時の担任がえこひいきの強い方だったため、お前には無理だ、落ちるなど感情的による発言をされた。